



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月31日

東・福

上場会社名 株式会社九電工

上場取引所

コード番号 1959

URL https://www.kyudenko.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西村 松次

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員財務部長 (氏名) 高田 勝則 (TEL) 092-523-1239

四半期報告書提出予定日 2020年2月10日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	279,872	11.0	18,761	10.7	21,057	9.2	14,319	14.5
2019年3月期第3四半期	252,083	9.5	16,947	△8.8	19,282	△7.4	12,501	△8.1

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 14,170百万円(21.6%) 2019年3月期第3四半期 11,649百万円(△26.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	201.80	—
2019年3月期第3四半期	175.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	336,187	188,251	55.5
2019年3月期	357,271	182,176	50.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 186,478百万円 2019年3月期 180,317百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2020年3月期	—	50.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	418,000	2.4	38,000	3.4	40,700	1.9	27,200	1.9	383.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料P.8「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	70,864,961株	2019年3月期	71,165,783株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	18,746株	2019年3月期	19,331株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	70,959,757株	2019年3月期3Q	71,143,062株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 2020年3月期の個別業績予想 (2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	363,000	3.1	33,600	5.3	35,900	3.2	24,300	4.3	342.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
3. 参考	8
個別業績の概要	8
4. 補足情報	9
(1) 連結業績の部門別・得意先別内訳	9
(2) 個別業績の部門別・得意先別内訳	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期におけるわが国の経済は、企業収益や雇用・所得環境が底堅く推移する一方で、自然災害や通商問題などを背景とした生産や輸出の弱含みに伴い、景況感の見通しが悪化する中で推移いたしました。

建設業界におきましては、当連結会計年度に引渡しを終える大型工事案件の施工がピークを迎える中、資材価格の値上がりや労務費の上昇が拡大するなど、課題が深刻化しております。

このような経営環境のもと当社グループは、中期経営計画（2015年度～2019年度：5カ年計画）の最終年度を迎えた本年度を「完成と総括」の年と定め、これまでの成果を検証・分析し、課題を整理した上で、継続的な成長を実現する企業づくりを行ってまいりました。

また、事業領域・事業エリアの拡大、収益力の強化と受注確率の向上、現場戦力の充実強化などの具体的取り組みに加え、利益率低下に対する原因の分析と改善対策の実施に全力を傾注してまいりました。

このような事業運営の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は下記のとおりとなりました。

〔連結業績〕

工事受注高	274,162百万円	（前年同期実績 297,007百万円）
売上高	279,872百万円	（前年同期実績 252,083百万円）
営業利益	18,761百万円	（前年同期実績 16,947百万円）
経常利益	21,057百万円	（前年同期実績 19,282百万円）
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,319百万円	（前年同期実績 12,501百万円）

(2) 財政状態に関する説明

資産合計は、手持工事の進捗に伴い未成工事支出金が増加しましたが、受取手形・完成工事未収入金等の売掛債権の回収などから、前連結会計年度末に比べ21,084百万円減少し、336,187百万円となりました。

負債合計は、手持工事の出来高に対する請負代金の回収に伴い未成工事受入金が増加しましたが、仕入債務の決済による支払手形・工事未払金等の減少などから、前連結会計年度末に比べ27,158百万円減少し、147,936百万円となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより、前連結会計年度末に比べ6,074百万円増加し、188,251百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の経済見通しにつきましては、総合経済対策の決定や雇用情勢の改善などにより回復基調が見込まれるものの、企業業績の成長鈍化、地政学的リスクの高まり、消費税増税後の消費動向など、引き続き注視が必要です。

建設業界におきましては、製造業の設備投資意欲の減退が懸念されるものの、政府主導による国土強靱化やインフラ設備強化など、建設需要は引き続き堅調に推移するものと期待されます。一方で、東京オリンピック・パラリンピック後の工事確保を見据えた受注競争の激化、施工のピークを迎える大型工事案件での工程遅れ、資材費・労務費の一層の上昇など課題の拡大も予測されます。

このような環境認識を踏まえ、当社グループでは、特に大型工事案件の利益率向上を図るために、受注前及び施工の初期段階で工程全体の改善策検討を行なう、フロントローディングなどの具体的対策を引き続き講じております。一方で、足元では建築工程の遅れを受けた追加労務費の支出や労務費単価の高騰が依然続いており、東京・関西などの大型工事案件の利益率低下に伴い今後の利益確保が危惧されます。当連結会計年度末に向けて、竣工が迫った案件の追加工事獲得と粘り強い価格交渉に努め、利益確保に努めてまいります。受注については、人材の適正配置を踏まえつつ、今後予定されている首都圏や地元九州の大型再開発、メガソーラー発電所の建設などの受注活動に取り組みます。配電工事につきましては、電力会社の発送電分離を4月に控え、当社としてもより効率的で時代に適合した契約や施工体制の整備を進めております。

なお、築上町し尿処理施設建設工事の一般競争入札に関する当社社員の法令違反に伴い、国土交通省より、全国における土木工事業に関する営業のうち、公共工事に係るものについて2019年12月25日より90日間の営業停止処分を受けました。一方で、各公共団体等からの指名停止については徐々に解除されており、営業停止及び指名停止に伴う受注額に対する影響は期首に想定した範囲内程度と見込んでおります。当社グループは、すべての事業活動において法令遵守を徹底して、信頼の回復に努めてまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	41,017	49,042
受取手形・完成工事未収入金等	150,612	102,368
有価証券	20	1,034
未成工事支出金	5,106	16,759
商品	1,765	2,100
材料貯蔵品	979	1,005
その他	6,791	11,440
貸倒引当金	△23	△23
流動資産合計	206,268	183,727
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	30,651	32,143
土地	28,874	28,845
その他(純額)	24,223	21,449
有形固定資産合計	83,750	82,438
無形固定資産		
のれん	343	222
その他	986	1,322
無形固定資産合計	1,329	1,544
投資その他の資産		
投資有価証券	53,772	57,561
長期貸付金	1,179	1,339
退職給付に係る資産	1,646	523
繰延税金資産	5,720	5,548
その他	5,291	4,974
貸倒引当金	△1,688	△1,471
投資その他の資産合計	65,922	68,476
固定資産合計	151,002	152,459
資産合計	357,271	336,187

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	88,360	49,677
電子記録債務	21,094	27,980
短期借入金	1,990	1,805
未払法人税等	8,412	1,009
未成工事受入金	12,909	27,631
賞与引当金	-	4,445
工事損失引当金	-	32
その他	9,377	7,214
流動負債合計	142,144	119,796
固定負債		
長期借入金	13,660	12,257
リース債務	2,596	2,749
役員退職慰労引当金	324	329
退職給付に係る負債	13,936	10,438
その他	2,432	2,364
固定負債合計	32,949	28,139
負債合計	175,094	147,936
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,561	12,561
資本剰余金	13,012	12,958
利益剰余金	159,401	165,716
自己株式	△10	△7
株主資本合計	184,965	191,229
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,585	3,328
繰延ヘッジ損益	△423	△503
為替換算調整勘定	179	81
退職給付に係る調整累計額	△7,988	△7,657
その他の包括利益累計額合計	△4,647	△4,750
非支配株主持分	1,858	1,772
純資産合計	182,176	188,251
負債純資産合計	357,271	336,187

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高		
完成工事高	239,241	263,697
その他の事業売上高	12,841	16,175
売上高合計	252,083	279,872
売上原価		
完成工事原価	207,249	230,082
その他の事業売上原価	9,954	12,973
売上原価合計	217,203	243,055
売上総利益		
完成工事総利益	31,992	33,614
その他の事業総利益	2,887	3,201
売上総利益合計	34,879	36,816
販売費及び一般管理費	17,932	18,054
営業利益	16,947	18,761
営業外収益		
受取利息	43	49
受取配当金	515	636
持分法による投資利益	435	434
投資事業組合運用益	748	896
受取賃貸料	235	251
その他	880	376
営業外収益合計	2,857	2,645
営業外費用		
支払利息	282	278
関係会社貸倒引当金繰入額	114	-
その他	126	70
営業外費用合計	523	349
経常利益	19,282	21,057
特別利益		
固定資産売却益	63	2
投資有価証券売却益	40	10
特別利益合計	103	13
特別損失		
固定資産処分損	457	83
投資有価証券売却損	15	0
投資有価証券評価損	194	13
施設利用権評価損	13	-
特別損失合計	680	97
税金等調整前四半期純利益	18,706	20,974
法人税等	6,254	6,691
四半期純利益	12,451	14,282
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△49	△37
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,501	14,319

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	12,451	14,282
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△907	△263
繰延ヘッジ損益	253	△24
為替換算調整勘定	△46	△108
退職給付に係る調整額	△37	330
持分法適用会社に対する持分相当額	△63	△45
その他の包括利益合計	△802	△111
四半期包括利益	11,649	14,170
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,709	14,216
非支配株主に係る四半期包括利益	△60	△46

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年6月10日開催の取締役会決議に基づき、2019年6月11日から2019年7月31日までの期間において300,000株の自己株式を取得しました。これにより、自己株式が994百万円増加しました。また、同取締役会決議に基づき、2019年8月30日付で300,822株の自己株式を消却しました。これにより、資本剰余金が68百万円、利益剰余金が929百万円、自己株式が997百万円減少しました。これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本剰余金は12,958百万円、利益剰余金は165,716百万円、自己株式は7百万円となりました。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 参考

個別業績の概要

(百万円未満切捨て)

2020年3月期第3四半期の個別業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 個別経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	239,687	10.0	16,041	12.4	18,398	11.1	12,319	14.3
2019年3月期第3四半期	217,846	3.9	14,268	△12.5	16,565	△13.7	10,781	△20.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	173.57	—
2019年3月期第3四半期	151.51	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	304,681	166,825	54.8
2019年3月期	325,316	162,924	50.1

(注) 参考として開示した個別業績の概要は、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

4. 補足情報

(1) 連結業績の部門別・得意先別内訳

①売上高

期別 部門別	前年同四半期連結累計期間 (2018.4~2018.12)		当四半期連結累計期間 (2019.4~2019.12)		比較増減	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	増減(%)
配電線工事	33,814	13.4	35,275	12.6	1,461	4.3
屋内線工事	125,056	49.6	140,283	50.1	15,227	12.2
空調管工事	80,371	31.9	88,137	31.5	7,766	9.7
設備工事業計	239,241	94.9	263,697	94.2	24,455	10.2
その他の事業	12,841	5.1	16,175	5.8	3,333	26.0
合計	252,083	100	279,872	100	27,788	11.0

②工事受注高

期別 部門別	前年同四半期連結累計期間 (2018.4~2018.12)		当四半期連結累計期間 (2019.4~2019.12)		比較増減	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	増減(%)
配電線工事	34,553	11.6	36,578	13.3	2,025	5.9
屋内線工事	156,030	52.6	139,989	51.1	△16,040	△10.3
空調管工事	106,423	35.8	97,594	35.6	△8,829	△8.3
合計	297,007	100	274,162	100	△22,844	△7.7

③期末手持工事高

期別 部門別	前年同四半期連結会計期間 (2018.12)		当四半期連結会計期間 (2019.12)		比較増減	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	増減(%)
配電線工事	1,833	0.5	2,143	0.6	310	16.9
屋内線工事	261,507	67.2	225,531	62.7	△35,975	△13.8
空調管工事	125,914	32.3	131,733	36.7	5,819	4.6
合計	389,254	100	359,409	100	△29,844	△7.7

④得意先別工事売上高

期別 得意先	前年同四半期連結累計期間 (2018.4~2018.12)		当四半期連結累計期間 (2019.4~2019.12)		比較増減	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	増減(%)
九州電力㈱	33,945	14.2	35,007	13.3	1,061	3.1
一般得意先	205,295	85.8	228,689	86.7	23,394	11.4
合計	239,241	100	263,697	100	24,455	10.2

⑤得意先別工事受注高

期別 得意先	前年同四半期連結累計期間 (2018.4~2018.12)		当四半期連結累計期間 (2019.4~2019.12)		比較増減	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	増減(%)
九州電力㈱	35,609	12.0	36,071	13.2	461	1.3
一般得意先	261,397	88.0	238,091	86.8	△23,306	△8.9
合計	297,007	100	274,162	100	△22,844	△7.7

⑥通期(2020年3月期)の売上高・工事受注高の予想

部門別	売上高(百万円)	工事受注高(百万円)
配電線工事	47,500	47,500
屋内線工事	220,000	242,500
空調管工事	135,500	135,000
設備工事業計	403,000	425,000
その他の事業	15,000	
合計	418,000	

(2) 個別業績の部門別・得意先別内訳

①売上高

部門別	前年同四半期 (2018.4~2018.12)		当四半期 (2019.4~2019.12)		比較増減	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	増減(%)
配電線工事	32,691	15.0	33,943	14.2	1,251	3.8
屋内線工事	118,848	54.5	130,530	54.5	11,682	9.8
空調管工事	65,266	30.0	71,531	29.8	6,264	9.6
計	216,806	99.5	236,005	98.5	19,198	8.9
兼業事業売上高	1,039	0.5	3,682	1.5	2,642	254.1
合計	217,846	100	239,687	100	21,841	10.0

②工事受注高

部門別	前年同四半期 (2018.4~2018.12)		当四半期 (2019.4~2019.12)		比較増減	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	増減(%)
配電線工事	33,180	12.4	34,845	14.6	1,664	5.0
屋内線工事	143,438	53.5	126,242	52.8	△17,196	△12.0
空調管工事	91,362	34.1	78,020	32.6	△13,342	△14.6
合計	267,981	100	239,108	100	△28,873	△10.8

③期末手持工事高

部門別	前年同四半期末(2018.12)		当四半期末(2019.12)		比較増減	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	増減(%)
配電線工事	1,177	0.3	1,473	0.5	296	25.2
屋内線工事	248,968	70.4	210,770	66.1	△38,198	△15.3
空調管工事	103,769	29.3	106,416	33.4	2,646	2.6
合計	353,916	100	318,661	100	△35,254	△10.0

④得意先別完成工事高

得意先	前年同四半期 (2018.4~2018.12)		当四半期 (2019.4~2019.12)		比較増減	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	増減(%)
九州電力㈱	33,049	15.2	33,876	14.4	826	2.5
一般得意先	183,757	84.8	202,128	85.6	18,371	10.0
合計	216,806	100	236,005	100	19,198	8.9

⑤得意先別工事受注高

得意先	前年同四半期 (2018.4~2018.12)		当四半期 (2019.4~2019.12)		比較増減	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	増減(%)
九州電力㈱	34,557	12.9	34,653	14.5	95	0.3
一般得意先	233,424	87.1	204,454	85.5	△28,969	△12.4
合計	267,981	100	239,108	100	△28,873	△10.8

⑥通期(2020年3月期)の売上高・工事受注高の予想

部門別	売上高(百万円)	工事受注高(百万円)
配電線工事	45,800	45,800
屋内線工事	202,200	220,000
空調管工事	110,000	110,000
計	358,000	375,800
兼業事業売上高	5,000	
合計	363,000	